

〔クロチアニジン水溶剤〕

農林水産省登録 第 2 0 7 9 8 号

性 状：青緑色水溶性細粒

毒 性：普通物

危 険 物：—

有効年限：5 年

包 装：125 g × 60、250 g × 30

ダントツ® 水 溶 剤

有効成分：クロチアニジン……………16.0%



「住友化学農業ガイド」の見方：i-農カサイトの「製品情報」、「農業ガイドを見る」から、「農業ガイドの見方」をご覧ください。
本剤の最新情報：こちらのQRコードを読み取ると i-農カサイトに掲載されている本剤の最新情報をご覧いただけます。

〔適用と使用方法〕

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り散布量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
稲	ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類 イネドロオイムシ イネアザミウマ	4000 倍	60~150 ℓ	7 日 前	本 剤：3 回 クロチアニジン： #16	散布
	ウンカ類 カメムシ類 イネドロオイムシ	1000 倍	25 ℓ			
稲 (箱育苗)	ウンカ類 ツマグロヨコバイ フタオビコヤガ	200 倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り500ml	移植日~ 3日前 移植日	本 剤：1 回 クロチアニジン： #21	育苗箱の上から均一に散布
	イネドロオイムシ イネミズゾウムシ	200~400 倍				
きゅうり	ミナミキイロアザミウマ アブラムシ類 コナジラミ類 カメムシ類	2000~4000 倍	100~300 ℓ	前日	本 剤：3 回 クロチアニジン： #1	散布
メロン	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ コナジラミ類 ウリハムシ ハモグリバエ類					
すいか	アブラムシ類・ウリハムシ	2000 倍	100~300 ℓ	前日	本 剤：3 回 クロチアニジン： #2	散布
	ミナミキイロアザミウマ					
なす	ミナミキイロアザミウマ ハモグリバエ類 アブラムシ類 コナジラミ類 テントウムシダマシ類 カメムシ類	2000~4000 倍	100~300 ℓ	前日	本 剤：3 回 クロチアニジン： #1	散布
	アブラムシ類 コナジラミ類					
トマト ミニトマト	アブラムシ類 コナジラミ類	2000 倍	100~300 ℓ	前日	本 剤：3 回 クロチアニジン： #1	散布
	ハモグリバエ類					
ピーマン	アブラムシ類 コナジラミ類 カメムシ類	2000~4000 倍	100~300 ℓ	前日	本 剤：2 回 クロチアニジン： #4	散布
	ミナミキイロアザミウマ					
とうがらし類	アブラムシ類 コナジラミ類	2000~4000 倍	100~300 ℓ	前日	3 回	散布
	ミナミキイロアザミウマ					

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 散布量	使用 時期*	総使用回数*	使用 方法	
ばれいしょ	アブラムシ類	2000~4000倍	100~300ℓ	7日前	本剤:3回 クロチアニジン: #5	散布	
	テントウムシダマシ類	1000倍	25ℓ				
だいこん	アブラムシ類 ダイコンハムシ	2000~4000倍	100~300ℓ	3日前	本剤:2回 クロチアニジン: #6		
レタス	アブラムシ類 ナモグリバエ・アザミウマ類	2000倍					本剤:2回 クロチアニジン: #7
非結球レタス	ナモグリバエ			2000~4000倍	本剤:2回 クロチアニジン: #22		
はくさい	アブラムシ類	2000倍					本剤:2回 クロチアニジン: #7
キャベツ	アオムシ・コナガ アブラムシ類・アザミウマ類			2000~4000倍	本剤:4回 クロチアニジン: #11		
ねぎ	ネギアザミウマ	4回					
わけぎ	ネギハモグリバエ						
あさつき							
てんさい	テンサイトピハムシ カメノコハムシ テンサイモグリハナバエ アブラムシ類	100~200倍		1ℓ/ペーパー ポット1冊 (3ℓ/m ²)	定植前	本剤:1回 クロチアニジン: #12	灌注
	カメノコハムシ テンサイモグリハナバエ アブラムシ類	2000~4000倍		100~300ℓ	14日前	本剤:3回 クロチアニジン: #12	
かんしょ	アブラムシ類		7日前		本剤:2回 クロチアニジン: #20		
やまのいも						本剤:3回 クロチアニジン: #3	
豆類(未成熟、ただし、えだまめを除く)			3日前		3回		
豆類(種実、ただし、だいず、あずき、いんげんまめ、らっかせいを除く)			7日前				
いんげんまめ			前日				
だいず			カメムシ類		2000倍	7日前	本剤:3回 クロチアニジン: #17
			インゲンマメゾウムシ				
あずき			マメシクイガ		2000~4000倍	7日前	3回
			アブラムシ類 カメムシ類 フタスジヒメハムシ				
にがうり		アブラムシ類 マメホソクチゾウムシ	2000~4000倍	前日	本剤:3回 クロチアニジン: #2		
	ミナミキイロアザミウマ アブラムシ類						
とうがん	ミナミキイロアザミウマ	2000倍	3日前	本剤:3回 クロチアニジン: #13			
食用へちま	アブラムシ類						
チンゲンサイ	ハモグリバエ類	2000~4000倍	7日前	本剤:3回 クロチアニジン: #19			
	アブラムシ類						

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 散布量	使用 時期*	総使用回数*	使用 方法
非結球あぶらな 科葉菜類 (こまつ な、チンゲンサイ、 なばな類を除く)	アブラムシ類	2000~4000 倍	100~300 ℓ	7 日 前	3 回	散布
オ ク ラ		4000 倍		前日		
ほうれんそう		2000~4000 倍		3 日 前	本 剤：3回 クロフニシ： #17	
こ ま つ な か ぶ	3 回					
しゅんぎく	アブラムシ類 ハモグリバエ類	2000~4000 倍		#8	2 回	
み つ ば	アブラムシ類	2000 倍				
未成熟とうもろこし	アブラムシ類 アカスジカスミカメ	2000 倍		14 日 前	1 回	
せ り	アブラムシ類	2000 倍		3 日 前	本 剤：3回 クロフニシ： #2	
パ セ リ		4000 倍				
セルリー		2000~4000 倍				
か ぼ ち や	ハモグリバエ類	2000 倍	7 日 前	本 剤：3回 クロフニシ： #3		
	アブラムシ類・ウリハムシ カボチャミバエ	2000~4000 倍 2000 倍				
れ ん こ ん	クワイクビレアブラムシ	2000~4000 倍	3 日 前	3 回		
え だ ま め	アブラムシ類 カメムシ類 フタスジヒメハムシ					
ブロッコリー	アブラムシ類 アオムシ・コナガ				2000 倍	
はなっこりー	アブラムシ類	2000 倍	前日	本 剤：2回 クロフニシ： #18		
に ら	アブラムシ類 ネギアザミウマ	2000~4000 倍	3 日 前			
にら (花茎)		4000 倍				
アスパラガス	アブラムシ類 ネギアザミウマ ジュウシホシクビナガハムシ カメムシ類	2000~4000 倍	前日			
みょうが (花穂)	ナスコナカイガラムシ	2000 倍	#15	7 日 前		
みょうが (茎葉)						
く わ い	アブラムシ類	2000~4000 倍	200~700 ℓ	前日	3 回	
り ん ご	カメムシ類 キンモンホソガ ギンモンハモグリガ シンクイムシ類 アブラムシ類 コナカイガラムシ類 リンゴワタムシ・ケムシ類 コガネムシ類成虫					
	な し					シンクイムシ類 アブラムシ類 コナカイガラムシ類 カメムシ類・ケムシ類 チュウゴクナシギジラミ
					#14	
						散布

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 散布量	使用 時期*	総使用回数*	使用方法		
すもも	カメムシ類 アブラムシ類	2000~4000倍	200~700ℓ	3日前	3回	散布		
もも	アブラムシ類 モモハモグリガ シンクイムシ類 カメムシ類 コガネムシ類			7日前				
おうとう	オウトウショウジョウバエ カメムシ類	2000倍		前日	2回			
うめ	ケシキスイ類 ケムシ類・カメムシ類 アブラムシ類	2000~4000倍		前日	3回			
ぶどう	コナカイガラムシ類 チャノキイロアザミウマ フタテンヒメヨコバイ ブドウトラカミキリ カメムシ類 コガネムシ類							
キウイフルーツ	アオバハゴロモ キウイヒメヨコバイ カメムシ類	2000~4000倍		7日前	3回			
かき	アザミウマ類 コナカイガラムシ類 カキノヘタムシガ カメムシ類 カキノヒメヨコバイ							
かんきつ	アブラムシ類・ミカンハモグリガ アザミウマ類・ケシキスイ類 コアオハナムグリ・ツノロウムシ コナカイガラムシ類 ゴマダラカミキリ カメムシ類・アゲハ類 アカマルカイガラムシ ナシマルカイガラムシ ミカンバエ ミカンキジラミ コナジラミ類 アオバハゴロモ	2000倍		100 ml/樹	前日		本剤：3回 カロ7ア7ニシ：#9	樹幹 散布
	カネタタキ							
	げっきつ	ミカンキジラミ		40倍	200 ml/樹		生育期	6回
かんきつ (苗木)	ミカンハモグリガ ゴマダラカミキリ アゲハ類・アブラムシ類	20倍	10~100 ml/樹	#10	3回	散布		
マンゴー	アザミウマ類 コナカイガラムシ類	2000~4000倍	200~700ℓ	7日前				
いちじく	アザミウマ類 カミキリムシ類	2000倍		3日前				
ネクタリン	アブラムシ類 モモハモグリガ シンクイムシ類 カメムシ類 コガネムシ類	2000~4000倍			2000倍			

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 散布量	使用 時期*	総使用回数*	使用 方法	
あんず	アブラムシ類	4000倍	200~700ℓ	3日前	3回	散布	
パイイヤ	ナガカタカイガラムシ ヒラタカタカイガラムシ	2000倍					
ブルーベリー	アブラムシ類 ケムシ類 オウトウシヨウジョウバエ	2000~4000倍					
びわ	アブラムシ類 カメムシ類 カイガラムシ類 カミキリムシ類	2000倍		前日	2回		
さんしょう (果実)	アザミウマ類	4000倍					
オリーブ	オリーブアナアキゾウムシ マエアカスカシノメイガ カメムシ類	2000~4000倍 2000倍		120日前	3回		
オリーブ(葉)	オリーブアナアキゾウムシ マエアカスカシノメイガ	4000倍					
なつめ	ゴマダラカミキリ			7日前	3回		
わた	アブラムシ類			100~300ℓ	発生初期		2回
パイナップル (苗木)	パイナップルコナカイガラムシ	2000倍		—	植付前		
茶	チャトゲコナジラミ マダラカサハラハムシ チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ チャノホソガ ツマグロアオカスミカメ コミカンアブラムシ	2000~4000倍	200~400ℓ	摘採 7日前	1回	散布	
	アザミウマ類 ハモグリバエ類・カメムシ類		100~300ℓ	発生初期	4回	散布	
きく	ナモグリバエ アザミウマ類 アブラムシ類	4000倍	1ℓ/m ²				
ばら	コガネムシ類	2000倍					
花き類・ 観葉植物	アザミウマ類	2000~4000倍	100~300ℓ	発生初期	6回	散布	
	アブラムシ類						
つつじ類	ツツジゲンバイ				4回		
たदै	アブラムシ類				4回		
デイゴ	デイゴヒメコバチ	2000倍	200~700ℓ	発生初期	5回		

#1: 4回(育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計1回、散布及び定植後の株元散布は合計3回)

#2: 4回(定植時の土壌混和は1回、散布は3回)

#3: 4回(植付時までの処理は1回、植付後は3回)

#4: 3回(定植時までの処理は1回、散布及び定植後の株元散布は合計2回)

#5: 4回(植付時の土壌混和は1回、植付後は3回)

#6: 3回(は種時の土壌混和は1回、は種後は2回)

#7: 3回(定植時までの処理は1回、定植後の散布は2回)

#8: 親株養成期 但し収穫45日前まで

- #9: 6回 (樹幹散布は3回、散布は3回)
- #10: 春芽・夏芽又は秋芽の発生前
- #11: 4回 (定植時までの処理は1回)
- #12: 4回 (定植前の灌注は1回、散布は3回)
- #13: 4回 (定植時までの処理は1回、定植後の散布は3回)
- #14: 散布、但し花穂の発生前にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態
で使用
- #15: みょうが(花穂)の収穫前日まで但し、花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで
- #16: 4回 (直播での発種時又は移植時までの処理は1回、本田での散布、空中散布、無人航空機
散布は合計3回)
- #17: 4回 (は種時の土壌混和は1回、散布は3回)
- #18: 3回 (定植時の土壌混和は1回、散布は2回)
- #19: 4回 (は種時及び定植時の土壌混和は合計1回、散布は3回)
- #20: 3回 (植付前の処理は1回、植付後は2回)
- #21: 4回 (移植時までの処理は1回、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回)
- #22: 3回 (育苗期の株元処理は1回、散布は2回)

作物名	適用場所	適用害虫名	希釈倍数	107- ¹ 当り 散布量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
水田作物、 畑作物 (休耕田)	ヨシ、オギ、ススキ、 セイタカアワダチソ ウ等の多年生雑草が 優占している休耕田	カメムシ類	4000倍	60~ 150ℓ	—	4回	散布



効果・薬害等の注意

- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせ調節する。
- 稲(箱育苗)に使用する場合は、育苗箱の上から所定量の希釈薬液を均一に散布する。また軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには、薬害を生じるおそれがあるので注意する。
- 稲及びばれいしょに対して希釈倍数1000倍で使用する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用する。
- ぶどうに使用する場合、袋かけ前までの幼果期に散布すると品種によっては果粉が溶脱するおそれがあるので注意する。
- かんきつに樹幹散布で使用する場合は、樹幹部から地際部に十分量を散布または塗布する。
- かんきつに樹幹散布で使用する場合は、散布液が葉にかかると薬害を生じるおそれがあるので、葉にかからないように十分注意する。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。



安全使用上の注意



- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
 - ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにする。
 - 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさける。
 - 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努める。
- マルハナバチに影響を及ぼすおそれがあるので注意する。
- 眼に入らないように注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受け

る。(刺激性)

- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 散布後は水管理に注意する。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。
- 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。
- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

〔品目特性〕

- 浸透移行性に優れ、カメムシ目、ハエ目、コウチュウ目、チョウ目、バッタ目、アザミウマ目の各種害虫に高い防除効果を発揮します。
- 幅広い殺虫スペクトラム
アブラムシ類、コナジラミ類、ウンカ類、ヨコバイ類、カメムシ類、コナカイガラムシ類などのカメムシ目害虫、アザミウマ目害虫に加えて、ハモグリバエ、ハモグリガ、ホソガ、シンクイムシ、カミキリムシなどハエ目、チョウ目、コウチュウ目害虫に対して経口又は経皮的に作用し、高い防除効果を示します。
- 浸透移行性
茎葉部から作物体内に吸収され、作物全体へ浸透移行していきます。また、トランスラミナー作用により、葉の表から裏への移行性も示しますので、アブラムシなど葉裏に生息している害虫にも優れた防除効果を発揮します。
- 幅広い作物に使える
稲、野菜、落葉果樹、かんきつ、茶、花きと幅広い作物に使用できます。
- 顆粒タイプの水溶剤
顆粒タイプの水溶剤ですので、薬液調製時の粉立ちが少なく、また作物が汚れる心配が少ない薬剤です。